

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、足立医療センター検査科・光学診療部では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の効果の違い(多機関共同後ろ向き調査)

[研究対象者]

2010年1月～2023年1月までの間に、肝動脈化学塞栓術(TACE)を受けた肝細胞癌(HCC)患者

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、既往歴、血液検査(血算、AST、ALT、TP、ALB、T-bil、Ch-E、BUN、Cr、eGFR、アンモニア、PT%、AFP、PIVKA2、FIB-4、M2BPGi、ヒアルロン酸、4型コラーゲン7s、BTR、ALBIスコア)、CT検査、内視鏡検査、超音波検査所見、飲酒歴、感染症、身長、体重、家族歴など。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

以下のことについて解明することを目的としています。

1. 治療1-3ヶ月後のCT検査における標的結節治療効果度(treatment effect: TE1～TE4)にてConventional TACE、Balloon-occluded TACE、Drug-eluting beads-TACEの治療効果の違いを判定
2. 治療後の肝機能の推移の違い
3. 治療後炎症反応の推移の比較
4. 入院日数の比較
5. HCC再発率の比較
6. 治療効果に関わる因子について単変量解析・多変量解析より抽出

[共同研究機関及び研究責任者]

1. 北里大学病院 消化器内科 教授 日高央、講師 魚嶋晴紀
2. 日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 准教授 厚川正則
3. 東海大学医学部付属病院 内科学系消化器内科 講師 荒瀬吉孝
4. 東京医科大学病院 消化器内科学分野 講師 竹内啓人

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年5月までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科・光学診療部 准教授 古市好宏

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科・光学診療部 古市好宏

電話：03-3857-0111(内線31414)(応対可能時間：平日9時～16時)

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、足立医療センター検査科・光学診療部では、下記の共同研究機関から診療情報等の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは共同研究機関まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、下記の各医療機関へ直接ご連絡いただくか、もしくは下記の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の効果の違い(多機関共同後ろ向き調査)

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京女子医科大学附属足立医療センター検査科光学診療部・准教授 古市好宏
本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学附属足立医療センター検査科光学診療部・准教授 古市好宏
電話：03-3857-0111(内線31414)(応対可能時間：平日9時～16時)

[提供を受けている診療情報等の由来者(研究対象者)]

以下に示す各医療機関において、2010年1月～2023年1月までの間に、腹部超音波検査と上部消化管内視鏡検査が施された慢性肝疾患患者

1. 北里大学病院(機関の長：医学部長 浅利 靖)
2. 日本医科大学付属病院(機関の長：院長 汲田伸一郎)
3. 東海大学医学部付属病院(機関の長：医学部長 森 正樹)
4. 東京医科大学病院(機関の長：学長 林 由起子)

[提供を受け、本学で利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、既往歴、血液検査(血算、AST、ALT、TP、ALB、T-bil、Ch-E、BUN、Cr、eGFR、アンモニア、PT%、AFP、PIVKA2、FIB-4、M2BPGi、ヒアルロン酸、4型コラーゲン7s、BTR、ALBIスコア)、CT検査、内視鏡検査、超音波検査所見、飲酒歴、感染症、身長、体重、家族歴など。

[利用の目的](遺伝子解析研究：無)

以下のことについて解明することを目的としています。

1. 治療1-3ヶ月後のCT検査における標的結節治療効果度(treatment effect: TE1～TE4)にてConventional TACE、Balloon-occluded TACE、Drug-eluting beads-TACEの治療効果の違いを判定
2. 治療後の肝機能の推移の違い
3. 治療後炎症反応の推移の比較
4. 入院日数の比較
5. HCC再発率の比較
6. 治療効果に関わる因子について単変量解析・多変量解析より抽出

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2027年5月までの間(予定)

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他()

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科・光学診療部 准教授 古市好宏

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科・光学診療部 古市好宏

電話：03-3857-0111(内線31414)(応対可能時間：平日9時～16時)